

パーソナルファイナンス学会

JAPF News No.42 2019. 3.4

第 19 回全国大会を振り返って

大会委員長 全国大会実行委員長
藤原七重（千葉商科大学）

第 19 回全国大会は、2018 年 12 月 1 日・2 日の二日間にわたり、千葉商科大学で開催されました。今回は大会テーマである「金融イノベーションとグローバル化」に基づき 6 件もの統一論題報告が行われ、さらにパネルディスカッションも開催されました。また、2 件の自由論題報告と消費者金融部会との共同プログラムも行われました。なお、全国大会は従来 11 月に開催されておりましたが、会場の都合から 12 月の開催となり、参加者の皆様にはご不便をおかけいたしました。お忙しいなか足をお運びいただいた参加者の皆様には感謝申し上げます。



今回の全国大会の目的は、金融イノベーションが進む諸外国、とくにアジア地域の状況をキャッチアップすること、また金融イノベーションの進展の影で問題となる法制度との齟齬との関わり

を明らかにすることにあります。まず一日目午前中には、2 つの統一論題報告が行われました。田中秀一郎氏（経済コラムニスト）の「仮想通貨と有価証券としての地域金融における可能性…ICO とクラウドファンディングやソーシャルレンディングとの接点と規制枠組みの在り方」および田中幸弘氏（新潟大学）の「仮想通貨と有価証券性……金融商品取引法の有価証券・手形の有価証券理論と ICO を考える視点と保振法による決済枠組みとの接点」の 2 報告においては既存の法制度の枠組みと金融イノベーションの関わりについての整理がなされ、その課題が浮き彫りにされました。午後は、岩崎薫里氏（株式会社日本総合研究所）および桜井駿氏（NTT データ研究所）から「東南アジアにおけるフィンテックの台頭とキャッシュレス化の動向」「金融イノベーションは Fin Tech、Tech Reg/Leg へ ～ネクストフィンテックがもたらす産業のデジタル化」というテーマで、海外の先進的な事例の動向紹介や今後の展望についての示唆に富む報告が行われました。続くパネルディスカッションでは統一論題報告を行った 4 者のなかでパーソナルファイナンス分野のフィンテックをめぐる状況とその課題についての活発な議論が交わされました。翌日も、統一論題報告は引き続き行われ、竹之内秀行氏（上智大学）・山本崇雄氏（神奈川大学）・今井雅和氏からは「日本のパーソナルファイナンス企業のアジア展開 – 2 社の事例から –」として既存の理論的な枠組みと異なる日系事業者の海外展開の在り方が示されました。また趙彤氏による「P2P ネット金融の投資家が本当に賢いか？」においては、中国の P2P 事業者の実証研究の興味深い結果が示されました。最後に、ブロックチェーン技術を通じて新規性の高いサービスを提供するなど、まさに技術分野における先端的な取り組みの中心にあるソラミツ特別顧問の宮沢一正氏による講演・「ブロックチェーンは金融革命・情報革命を起こすのか」が行われ、統一論題報告は幕を閉

じました。

統一論題報告だけでなく、いくつもの報告が行われました。一日目の午後には、消費者金融部会との共同プログラムが行われ、堂本浩氏（東京情報大学）から「ファクタリングを偽装したヤミ金融に関する報告 ～ファクタリングを偽装したヤミ金融業者が利用者側に実質的に勝訴した事例の考察」として、新たなヤミ金融の手法が報告されました。さらに二日目の午前には、福井大学の尾形孔輝氏・竹本拓治氏・米沢晋氏（福井大学）による「コミュニティバスの受益者負担について海外事例に関する考察-海外の乗り合い交通の視点から-」、川上祥代氏・竹本拓治氏（福井大学）による「ライドシェアにおける運賃の意識と利用との関係性からみた考察」の二報告が行われ、新たな視点からの提言がなされました。

今回の全国大会の特徴は、海外のパーソナルファイナンスサービスや、フィンテックと既存の法制度との問題について、見識が広い研究者、実務家の方をお招きし、複眼的な検討を加え、今後のパーソナルファイナンス研究の視座を広げようと試みたという点にあります。ご出席いただいた報告者、モデレータ、コメンテータおよび司会の方々をはじめ、フロアから質疑に参加して下さった方々、さらにはお忙しいなか全国大会に足をお運びくださった参加者の皆様のおかげで学術研究の深化に寄与ができたと考えております。



また、全国大会の準備段階から大会終了まで、プログラム案の作成、大会当日の運営などで、多



大なご尽力をいただき大会を成功へと導いてくださった坂野友昭会長、岸本寿生先生をはじめとした大会委員の皆様、インノベーション部会メンバーの皆様、リエゾンオフィスの皆様、大塚茂晃先生、ならびに千葉商科大学教育支援オフィスの職員の皆様および学生スタッフの皆様には、心より感謝申し上げます。

東部部会開催のお知らせ

（クレジットマネジメント研究会共催）

日 時：2019年3月29日（金）

部 会：18:00～18:50

会 場：早稲田大学 26号館 302教室

（東京都新宿区西早稲田 1-6-1）

「諸外国の信用情報の活用実態と与信規制」
～情報の保有項目と与信規制の在り方を考える
吉元利行（株）オリエン総合研究所顧問

懇親会：19:00～20:30

懇親会会場：イルデパン 参加費：2,000円

（東京都新宿区早稲田鶴巻町 537 メゾン三晃 1F）

参加希望の方は、研究会のみ、研究会と懇親会の両方が明記して、リエゾンオフィスまでメールでお申し込みください。研究会は、当日のご参加も可能ですが、配布資料のご用意ができない場合がございます。（参加無料）

参加申込締切：2019年3月25日（月）

申込先：リエゾンオフィス japf@ibi-japan.co.jp



Web ジャーナル『パーソナルファイナンス研究』

No.6 投稿募集!

応募締切：2019年5月27日(月)

執筆要項(抜粋)

1. 原稿は日本語または英語とする。日本語原稿はA4判使用、20,000字以内、英語原稿はA4判使用、7,500ワード以内の分量を基準とする。いずれもタイトル、要旨、本文、謝辞、注、参考文献、図表等を含んだ分量である。
2. 原稿はWord形式で保存し、指定のURLにアップロードする。ハードコピーの郵送は不要。

*執筆要項は改訂されておりますので、必ずご確認ください。

【提出先】リエゾンオフィス japf@ibi-japan.co.jp

Web ジャーナル『パーソナルファイナンス研究』

No.5 公開準備中

今号は招聘論文1編と研究論文3編の4編が掲載されております。

巻頭言 坂野友昭(早稲田大学)

招聘論文 堂下 浩(東京情報大学)

「前近代的な情報管理システムに起因する銀行カードローンの問題点に関する調査」

研究論文Ⅰ(査読付き)

尾形孔輝(福井大学大学院)、竹本拓治、米沢晋(福井大学)

「コミュニティバスの運行における受益者負担に関する考察」

研究論文Ⅱ(査読付き)

加藤 晃(北海道教育大学)

「改正貸金業法が日本のGDPと雇用に与えた効果－特定産業の波及効果分析を用いて－」

研究論文Ⅲ(査読付き)

上村祥代、竹本拓治、川本義海(福井大学)

「ファイナンスからみた公民連携の輸送事例に関する考

察－自動車学校の送迎バスの取り組みおよび費用対効果について－」

第20回全国大会のご案内

第20回全国大会は、神奈川大学横浜キャンパス(横浜市神奈川区六角橋3-27-1)にて開催いたします。

開催日：2019年11月～12月上旬(予定)

実行委員長：山本崇雄(神奈川大学)

自由論題募集期間：2019年7月1日～31日

提出先：リエゾンオフィス

2019年度学会賞・研究奨励賞 候補作募集

学会賞：2018年7月～2019年6月までに公開されたパーソナルファイナンスに関する単行本。(会員に限る)

研究奨励賞：2018年7月～2019年6月までに公開された論文。年齢でなく研究者としてのキャリアが浅い会員が対象。推薦・応募のほか、Web ジャーナル『パーソナルファイナンス研究』へ投稿された査読付き論文に関して、掲載が確定した論文は、自動エントリーされます。

応募・推薦締切：2019年7月31日(水)

お問合せ・提出先：リエゾンオフィス

会費納入のお願い

2018年度も残りわずかになりました。当年度会費が未納の方におかれましては、当年度内(3月29日)までにお振込みをお願いいたします。

*JAPF Newsは記事中すべて敬称略としております。

JAPF News 第42号

発行日：2019.3.4

発行：パーソナルファイナンス学会

監修：国際交流・広報委員長

山本崇雄(神奈川大学)

編集：リエゾンオフィス

【業務受託】(株)国際ビジネス研究センター

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町518

司ビル3F ☎ 03-5273-0473